

青年よ 大志をいだけ



農業大学校
総合農学科後援会長

小川 幹雄

100年に一度の経済危機。今、我が国は平成維新と言われる大変革期のまただ中にいます。景気低迷、地方経済の衰退、雇用不安。農業経営においても諸材料の高騰、価格の低迷、消費の衰退と生産者の努力だけではどうにもならない事態に直面しています。

WTO、FTAに代表されるように単に国内問題だけでなく、国際間の戦略に農業は深く関与しています。

今後の交渉次第では日本農業は崩壊します。生産するだけの農業から販売まで含めた生産体系の構築、そして、消費者の理解を得ること。農業が担っているのは社会の根っこであり、損得だけでは論じることができないことを訴えていく必要があります。

農大で学んだ能力を活かし、体力、気力、知力、自分の持てるすべての力を出し切り、新しい型の農業を創造して欲しいと願っています。



～研究と実習の成果を披露～

農大祭

11月8日、この時期としては珍しく温暖な晴天に恵まれるなか、多くのお客様を迎え、盛大に農大祭が開催できました。日頃取り組んできたプロジェクト研究成果が展示発表された他、実習で育てた農産物も販売されました。開場早々に完売になる人気商品もあり、恒例となった搗きたたのお餅にも行列ができ、お客様には収穫の秋を楽しんでもらいました。



秋空の下、松代キャンパスで農大市が開催

十一月十五日(日)は、松代キャンパスで農大市が開かれました。例年とほぼ同じ千人ものお客様が来校され、野菜、作物、果樹、花きと学生たち手作りの農産物が完売しました。今年は、例年とは変わって、JA総合研修所前広場が会場となりましたが、ソーセージづくり、リンゴもぎ取り、餅つきと様々な体験を楽しまれるお客様に対応する中、紅葉が映える秋の晴天の一日はあつという間に過ぎ去りました。



二年生プロジェクト発表会

一月十三日、十四日松代キャンパスにおいて、二年生四十一名の「プロジェクト発表会」が開催されました。

プロジェクトは自分で計画した課題について、農畜産物の生産の全過程を自分の責任で管理し、調査、分析してきた結果をまとめ、パワーポイントを使用して発表しました。

飼料価格が高騰する中、養豚の飼料価格の削減や本県で育成されたリンゴ「シナノスイート」の消費者の評価、連作障害回避としてのヤーコンの効率的な作付け等、特徴のある課題も多く見応えのある発表

表になりました。また、保護者も聴講して頂いたので、成長した姿に驚かれたのではないかと思います。

来年は、自らが発表する一年生からも、多くの質問が出されていたので、これからのプロジェクト活動に、より身が入るのではないかと思います。

今回のプロジェクト活動を通じた体験や経験が、学生のポテンシャルを高め、卒業後、それぞれの分野で活躍してくれるものと思います。

厳正な審査の結果、最優秀賞に将来の自らの経営を見据えた課題を発表した畜産コースの小川源太君が選ばれ、次席の畜産コース松田徹郎君、果樹コース浦野勇太君の三名が一月二十一～二十二日に千葉県で開催された「関東ブロックプロジェクト発表会」の代表に選出され参加しました。



若人のつどいで発表

二月九日、塩尻市レザンホールで開催された「明日の長野県農業を担う若人のつどい」では、「プロジェクト発表の部」に森田恵子さん、「意見発表の部」には一年生の小松実加代さんが発表しました。小松さんは「大勢の人の前で話すことにとっても緊張しましたが、伝えることの大切さがとても勉強になりました」と語っていました。



関東ブロックプロジェクト発表会に参加して

畜産コース 小川源太

千葉県で行われた関東ブロック農業大
学校等プロジェクト発表会に参加してきま
した。結果は入賞できず全国大会へ進む
ことができませんでしたが、各県の研究の
成果を聴くことができ、貴重な経験をす
ることができました。

発表は課題選定の理由に自分の将来
を見据え、目的意識が明確なものが多
かったです。その中でも将来就農する人は
実家の農業経営から問題点を見つけ、そ

の解決法の検証としてプロジェクトを行っ
ていました。私も実家の農業経営から課
題を選定したので、将来就農する人たち
の考えを聴き、刺激を受けました。また、
このプロジェクト発表会に参加した事で、
自分の考えを伝えることの難しさを痛感
し、今後の課題を見出すこともできました。

発表にあたってご指導頂いた先生方、
調査に協力してくれた方々に感謝してい
ます。ありがとうございました。



教授登場



須田 弘文先生

農業気象学

農業大学校では実習だけでなく、
様々な専門授業も行われています。授
業を覗いてみましょう。

「自然現象に関心を持ち、なぜ、そ
うなるのかを考えて欲しいのです」

須田先生は、学生に望むことの第一
番に気象現象への好奇心をあげます。
台風、霜、積雪、雹と気象災害は、農
業にも悩みの種です。

「農業と気象とは密接に関係があり
ます。いかに科学が進んだ今日でも台
風の勢力を弱めたり進路を変えるとい
うように気象現象を人間の力で制
御することはできません。ですから、台
風の被害をはじめ、自然災害を完全
に避けることはできません。ですが、気
象現象のメカニズムを知り情報の意味
を理解できれば、被害を軽くすること
はできます」

気象庁に長年勤めていた経験を活か
し、過去の様々な長野県の異常気象の
事例を紹介する授業は具体性もあつ
て学生も熱心に耳を傾けていました。

スキー教室によせて
就職氷河期と言われた今年進路の状況



あたえました。

何社訪問してもなかなか採用されない。それでもめげずにチャレンジを続けなければならぬ等、厳しい状況でしたが、二月中旬には九割以上の学生たちが進路を決定することができました。

一年かけたプロジェクト学習も進路決定もほぼ終わり、残すところ農大での授業もあとわずか。そんな天候の中でも二年生は晴れ晴れとした表情でゲレンデを楽しんでいました。なにかと明るい話題の少ない今日この頃ですが、若さいっぱいの子供たちをみてみると、そんな世間の状況など吹き飛ばし頑張っている。そう確信しました。

平成二十二年二月九〜一〇日にかけて、小諸キャンパスの二年生最後の現地授業であるスキー教室が菅平高原ハイキングスキー場で行われました。当日は生憎みぞれ混じりの雨という悪天候の中での実施でした。

思えば今年度は、今日の天気のように荒れ模様の一年でした。とりわけ、昨年末にアメリカに端を発した世界的な不況は二年生の進路にも大きな影響を



平成21年度卒業生の進路状況

就 農【5名】	自営(2)	
	農業法人(3)	農事組合法人落影生産組合、合同会社大森園(農業生産法人)、(株)あずみ野エコファーム
就 職【22名】	公務員(1)	長野県警
	JA(9)	長野八ヶ岳、佐久浅間、信州うえだ(2)、みなみ信州、大北、グリーン長野、川上そ菜販売、みな穂(富山県)
	農業関連企業(10)	(株)中セキ信越(2)、(株)甲信クボタ(2)、長野興農(株)、(株)ミスズライフ、(株)コメリ、(株)アーデン、(株)長野園芸市場、信州青果(株)
	一般企業(2)	(株)グレース、(株)ココネット
進 学【8名】		本校専門技術科(3)、本校研究科、山形大学農学部(編入)、岐阜大学農学部(編入)、その他専修学校(2)
その他【6名】		牧場研修ほか